

## 或る夜の殿様 (1946)

メディア 映画  
ジャンル 時代劇 ドラマ  
製作国 日本  
色彩 B&W  
時間 112分  
初公開日 1946/07/11

## 【解説】

衣笠貞之助が監督、小国英雄が脚本を担当した、1946年製作の現代劇コメディ。鉄道建設の利権を巡り、二人の商売仲間が大阪の有力商人の協力を得て、姑息な越後屋に一泡吹かせようとする物語。

明治18年、大阪商人の仁太郎と三右衛門は箱根の温泉旅館で、逋信大臣に水戸 - 宇都宮間の鉄道施設を申請した。大臣は案に賛成するが、鉄道建設には自分を嫌っている水戸当主の許可が必要だと言う。水戸藩主の弟である平喜一郎であれば当主の許諾を得ることができるが、当の平喜一郎は行方不明になっているらしい。仁太郎と三右衛門は、ライバルであり傲慢かつ姑息な越後屋を出し抜くため、たまたま旅館を訪れた苦学生を平喜一郎に仕立て上げ、越後屋を騙す計画を立てた。

## 【クレジット】

|      |        |             |
|------|--------|-------------|
| 監督   | 衣笠貞之助  |             |
| 製作   | 清川峯輔   |             |
| 脚本   | 小国英雄   | Hideo Oguni |
| 撮影   | 河崎喜久三  |             |
| 美術   | 久保一雄   |             |
| 編集   | 後藤敏男   |             |
| 音楽   | 鈴木静一   |             |
| 特撮効果 | 円谷英一   |             |
| 出演   | 長谷川一夫  | 平喜一郎        |
|      | 山田五十鈴  | 女中おみつ       |
|      | 大河内伝次郎 | 江本逋信大臣      |
|      | 藤田進    | 書生節の男       |
|      | 進藤英太郎  | 越後屋喜助       |
|      | 高峰秀子   | 娘妙子         |
|      | 飯田蝶子   | 妻おくま        |
|      | 清水将夫   | 山崎勝五郎       |
|      | 吉川満子   | 妻里野         |
|      | 三谷幸子   | 娘綾子         |
|      | 志村喬    | 北原虎吉        |
|      | 菅井一郎   | 菅沼仁太郎       |
|      | 清川荘司   | 波川三右衛門      |
|      | 河野秋武   | 巡查 関川大之進    |
|      | 北沢彪    | 秘書 池田信正     |
|      | 横山運平   | 掃除人         |
|      | 清川玉枝   | 髪結おたつ       |

花岡菊子

おきく

中北千枝子

給仕女

中村哲

Satoshi Nakamura

中久保男爵